

第28号

正福寺報

平成26年秋彼岸号

臨濟宗 円覚寺派
住職 松原 行樹
TEL 045-811-3800
FAX 045-811-6304
shouhukuji@nifty.com

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町340

<http://shouhukuji.com/>

縁にしたがって

正福寺住職 松原 行樹ぎょうじゆ

詩人の岡崎純さんの作品に、「種子」という詩があります。

落ちたところが
棲（すみか）である

風に運ばれ
鳥に運ばれ
犬や猫に運ばれ
人間に運ばれ
土の上であるうと
岩の上であるうと
落ちたところに
縁あれば
そこに生きる

発芽してよし

発芽しなくてよし

種子は運不運を飲み込んで
その刻（とき）を待っている

私たちはいったいどれだけ多くの
人の手が加わって、「いま、ここ、わ
たし」がいるのでしょうか。

種子は場所を選びません。縁にした
がって、落ちたところが生きていく場
所です。無論そこには、「あそこで花
を咲かせたい」「あっちに飛んでいき
たい」ということはありません。

種子のように自分の価値観といっ
た我に固執することなく、「とらわれ
ない、こだわらない、ひきずらない」
ことが必要なのではないでしょう
か。私たちは多くの人のおかげで、「い
のち」という種子をいただいております。
無我になって縁にしたがって生き、
与えられた場所で花を咲かせていき
たいものです。